

# 資産の総合評価シート

施設名	青少年サポートセンター西分室	施設所管課	子ども未来局子ども未来部健全育成課	評価番号	28-2
-----	----------------	-------	-------------------	------	------

## 1 分析結果

### (1) データ評価結果

評価指標	①建物性能	②利用度	③運営コスト
対ベンチマーク	○	△	△

#### 【まとめ】

- ・①建物性能に大きな課題はなかった。
- ・②利用度は延床面積当たり相談・サポート件数でグループ平均を下回ったため、課題ありとなった。
- ・③運営コストは、グループ内で当施設のみ賃借料を支払っていることに加え、子ども・若者総合相談センター（Link）を運営していることから、グループ平均と比べて高いため、課題ありとなった。

### (2) 現用途の需要見通し

#### ①利用実績の検証

S40年1月、少年非行防止活動をより効果的に実践するための活動拠点として、千葉県青少年補導センターを開設（対象年齢20歳未満）。  
 S57年4月、千葉県教育会館内に分室を開設。  
 H8年4月、警察組織と同様に中央、東西南北の補導センター組織ができあがり、どの地域でも対応できるようになる。  
 H22年4月、補導センターから青少年サポートセンターに名称変更。  
 H24年8月、社会生活を円滑に営む上で、困難を有する30歳代までの子ども・若者（ニート・ひきこもり・不登校等）及びその家族を支援するため、同施設内に「子ども・若者総合相談センター（Link）」を開設。

#### 1 H27年度の利用状況

##### (1) 青少年サポートセンター事業

- ・相談・サポート件数 93件（前年度 122件）【前年比 76%】
- ・補導件数 183件（前年度 96件）【前年比 190%】

##### (2) 子ども・若者総合相談センター（Link）事業

- ・相談件数 657件、うち電話相談 521件（前年度 695件）【前年比 95%】
- ・主な相談内容は、病気・障害（20%）、就職・就労関係（19%）、ひきこもり（18%）、不登校（13%）である。年齢別では、20歳代が約4割で最も多い。
- ・第3日曜日のみ、青少年サポートセンター中央（千葉県教育会館4F）で対応している。

#### 2 利用状況の推移

##### (1) 青少年サポートセンター事業（H23～H27年度）

- ・相談・サポート件数は減少傾向。（H23年度：334件→H27年度：93件）
- ・補導件数は、横ばい。（H23年度：194件→H27年度：183件）

##### (2) 子ども・若者総合相談センター（Link）事業（H25～H27年度）

- ・相談件数は、増加傾向。（H25年度：539件→H27年度：657件）
- ・年齢別では0～14歳、20歳代が増加傾向。

#### 3 運営コスト

- ・正規職員は3人であり、コスト全体の約9割が人件費である。
- ・（一財）千葉県教育会館に対し、賃借料18万/月を支払っている。
- ・利用料金は無料であり、利用に伴う市の歳入はない。

・児童生徒、無職少年、保護者、学校等からの相談に対し、来所や電話及び訪問等を行い、青少年の健全育成を目指している。

・学校や関係機関等と連携を図りながら、問題行動を起こしている児童生徒及び無職少年に対し、立ち直りに向けて、個々の実情に即した生活改善及び学習支援等を行っている。

・街頭、駅周辺、ゲームセンター及び学校周辺等を青少年補導員と協働で巡回し、不良行為等を行っている青少年に対し、声かけ指導などの補導活動（原則として1日に午前・午後各1回）を実施し、非行防止を図っている。

・これらの業務内容の性質上、相談等の利用度は安定的ではない。

#### ②将来の人口動態などを踏まえた利用状況の変化

- ・長期的には、人口の減少に伴い、相談件数等が減少する可能性がある。
- ・ただし、過去の相談件数等を見ると人口の推移とは比例しておらず、長期的な動向については、家庭環境の多様化や社会情勢の悪化等、人口以外の社会的要因を複合的に検証する必要がある。

③将来における効率性の変化	・相談件数等が減少した場合、施設利用の効率性が低下する。
---------------	------------------------------

<p><b>【まとめ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の非行防止と健全育成を図るとともに、困難を有する子ども・若者の支援を行うためのサポートを行う施設であるため、業務内容の性質上、相談等の利用度は安定的ではない。</li> <li>・長期的な動向については、家庭環境の多様化や社会情勢の変化等、人口以外の社会的要因を複合的に検証する必要がある。</li> <li>・他青少年サポートセンター分室と異なり、賃借料の負担がある。</li> </ul>	
---	--

<p>(3) 公共施設再配置</p>	
①検討すべき再配置パターン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺には、美浜区役所や児童相談所、療育センター、こころの健康センター、高浜公民館、小中学校など多くの公共施設が立地している。</li> <li>・子ども・若者総合相談センター（Link）の周辺では、類似施設として、こころの健康センター内にひきこもりに特化した専門相談窓口（支援対象者：市内在住18歳以上）である「ひきこもり地域支援センター」がH28年2月開設。</li> <li>・他の類似施設として、青少年サポートセンター（中央区）及び青少年サポートセンター各分室（東分室（若葉区）、南分室（緑区）、北分室（花見川区））がある。</li> </ul>
②留意すべき制約条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察署と連携を図って対応することが多い事業であるため、警察署の管轄（千葉中央警察署、千葉東警察署、千葉西警察署、千葉南警察署、千葉北警察署）に準拠して、各管轄内に1か所の青少年サポートセンター又は各分室を設置している。</li> <li>・不登校生徒や非行少年、暴力行為をする生徒などの利用や、ニート・ひきこもり等の若者からの相談業務があることから、防音（声の遮断など）を考慮した仕様で、市民との接触が少ない建物であることが望ましい。</li> <li>・本施設は、千葉市教育会館の一部を賃借（H28年度～H30年度）している。</li> </ul>

<p><b>【まとめ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警察署の管轄に準拠した設置となっていることや、防音などプライバシーを考慮した仕様が望ましいこと、現行の賃貸借契約の期間がH30年度までであることから、直ちに再配置することは難しい。</li> <li>・賃借料の費用負担を軽減するため、将来的には、美浜区を中心とした市の公共施設における余裕スペースへの移転を検討すべき。</li> </ul>	
--	--

<p>(4) 資産の立地特性</p>	
①重視すべきエリア・資産の特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化区域（第一種中高層住居専用地域）である。</li> <li>・JR稲毛海岸駅より徒歩20分又はバス下車徒歩約3分。</li> <li>・自家用車でのアクセスも可能（駐車場170台）。</li> </ul>
②公共としての活用ポテンシャル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現用途以外での活用ポテンシャルは低い。</li> </ul>
③外部転用のポテンシャル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地は市所有であるが、建物は（一財）千葉市教育会館の所有であるため、外部転用できない。</li> </ul>

<p><b>【まとめ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共として現用途以外での活用ポテンシャルは低い。また、賃借しているため、外部転用できない。</li> </ul>	
--	--

<p>2 総合評価</p>	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（一財）千葉市教育会館が所有する建物の一部を賃借して設置している。</li> </ul>
継続利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容の性質上、相談等の利用度は安定的ではなく、今後の需要については、家庭環境の多様化や社会情勢の悪化等の影響を受けやすい。</li> </ul>
方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察署の管轄に準拠して設置していることや、防音などプライバシーを考慮した仕様が望ましいこと、現行の賃貸借契約の期間がH30年度までであることから、直ちに再配置することは難しい。</li> </ul>
⑩当面継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上のことから、当面は利用を継続する。</li> <li>・ただし、賃借料の費用負担を軽減するため、将来的には、美浜区を中心とした市の公共施設における余裕スペース等への移転を検討すべき。</li> </ul>